



2020年2月14日

各 位

会社名 株式会社メタックス
 代表者名 代表取締役社長 山崎 祐一郎
 (コード番号: 6172 東証マザーズ)
 問合せ先 企画本部長 尹 喜重
 (TEL. 03-6459-4670)

2019年12月期における個別及び連結業績と前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、連結・個別業績予想ともに開示しておりませんが、2019年12月期の業績につきまして、前期実績値との差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。なお、2019年12月期は決算期変更の移行期間にあたり16カ月の変則決算となります。

記

1. 2019年12月期通期連結業績と前期実績値との差異 (2018年9月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	税引前利益	当期利益	親会社の所有者に帰属する当期利益	基本的1株当たり当期利益
前期実績値 (A)	百万円 10,240	百万円 △214	百万円 △319	百万円 △427	百万円 △454	円 銭 △33.89
当期実績値 (B)	13,292	△2,990	△3,152	△3,633	△2,861	△211.29
差異額 (B-A)	3,052	△2,776	△2,833	△3,206	△2,407	
差異率 (%)		—	—	—	—	

(注) 当社グループは、2019年12月期より、IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。過去業績との比較を容易にするため、「前期実績値 (A)」の「売上高」はIFRS15号を適用したプロフォーマ情報を使用しております。

2. 2019年12月期通期個別業績と前期実績値との差異 (2018年9月1日～2019年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前期実績値 (A)	百万円 1,359	百万円 246	百万円 191	百万円 82	円 銭 6.12
当期実績値 (B)	1,160	△168	△262	△6,118	△451.92
差異額 (B-A)	△199	△414	△453	△6,200	
差異率 (%)	△14.6%	—	—	—	

3. 差異の理由

(1) 連結業績

決算期の移行に伴う変則決算であったため、売上高が増加いたしました。一方、本日公表の「減損損失等の計上に関するお知らせ」のとおり、子会社及び関連会社ののれんの減損損失 2,335 百万円及びその他無形資産の減損損失 1,341 百万円を計上し、営業赤字となりました。税引前利益、当期利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益についても営業利益の減少に伴い減益となりました。

(2) 個別業績

売上高は、決算期の移行に伴う変則決算であったため、事業収益が 79 百万円、関係会社ロイヤリティー収入が 146 百万円増加した一方、関係会社受取配当金が 423 百万円減少いたしました。営業利益及び経常利益については、変則決算の影響により販売管理費が 361 百万円増加したため、赤字となりました。当期純利益は、本日公表の「減損損失等の計上に関するお知らせ」のとおり、事業構造改善費用 5,908 百万円の計上に伴い減益となりました。

以 上